令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　640

事務事業名称		給水装置審査確認業務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上水道管理課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	水道法及び同施行令、施行規則並びに枚方市水道事業給水条例及び同施行規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	給水を受ける市民・事業者などが安心して枚方市指定給水装置工事事業者に任せられる状態。(窓口等による業者指導)						
	対象者(受益者)	配水管より分岐して、給水を受ける市民・事業者など						
	現状・課題	サブターゲットである指定店の技術力により仕上がりや工期に差が出る。						
	事業の概要	枚方市水道事業の給水について、給水装置工事及び給水条件に適した給水装置の適性を保持し安心して使用できるように給水装置の審査確認を行う。 1)配水管より分岐して設ける給水装置が構造材質基準及び基準省令に適合し、適切に設計されているか審査する。 2)審査後、設計通り適性に施工されたか検査する。						
	年間の主な事務	・給水装置工事に関する事務 ・枚方市水道事業給水条例第35条の規定による給水管の施設の認定等に関する事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	6.25人	—	—	—
再任用	1.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.00人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	53,377	—	—	—		
		会計年度任用職員	0	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		53,377	—	—	—		
	物件費計		167	—	—	—	3,219	5.2%
歳出計			53,544	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		221,792	—	—	—	192,582	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			221,792	—	—	—	192,582	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	—	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 給水装置工事受付・審査	件	2,959 件	ー 件	ー 件	ー 件
② 給水装置工事検査	件	3,135 件	ー 件	ー 件	ー 件
③ 特別給水装置工事受付・審査	件	16 件	ー 件	ー 件	ー 件
④ 特別給水装置工事検査	件	12 件	ー 件	ー 件	ー 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 給水装置工事及び給水条件に適した給水装置の適性を保持し安心して使用できる。

指標: 給水装置検査達成率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	—	—	—	%

算出方法: 検査件数÷給水装置竣工検査依頼件数×100

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	各指定給水装置工事事業者に対し、本市における給水装置工事に伴う施工基準を示すことで、市民に対し給水に係る公平性・安全性を確保するとともに、適正に効率的な指導を行うことができた。 設計審査件数　新設・・・1,373件　その他・・・1,602件　合計2,975件 工事検査件数　新設・・・1,434件　その他・・・1,713件　合計3,147件
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	引き続き、指定給水装置工事事業者からの給水装置工事の申込において、水道法等の関係法規における基準に適合させるように審査・検査を行う。	R7年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　641

事務事業名称		水道管路等管理事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上水道管理課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	26.安全で良好な生活環境が確保されたまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	水道法及び同施行令、施行規則並びに枚方市水道事業給水条例及び同施行規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	水道管路等の財産が適切に管理され、給水が円滑に行われている状態。						
	対象者(受益者)	安全でおいしい水の供給を安定的に受ける水道使用者						
	現状・課題	水道管路用地の有効な活用を行い、適切な管理を行う必要がある。						
	事業の概要	安全・安心・安定した水を供給するため、「水道管路用地の管理」「水道配管図の管理」「道路・河川等占用継続申請」「水道管路の借地」の各事務事業を行う。 1)水道管路用地の適切な管理をおこなう。 2)市内全域の導・送・配・給水管理情報を水道施設情報管理システムで管理し、工事等による経年変化を修正する。 3)水道管が埋設されている民有地等において土地所有者に対して借地料を支払い、借地の継続手続きを行う。						
	年間の主な事務	・水道事業に係る占用継続に関する事務 ・水道事業に係る用地の管理及び境界確定に関する事務 ・水道事業に係る用地に関する行政財産の目的外使用の総括に関する事務 ・水道に係る道路法第34条の規定に関する事務 ・掘削工事等に伴う送配水管等に係る事前立会に関する事務 ・水道に係る上下水道施設情報管理システムの管理に関する事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.30人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	2.61人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	17,682	—	—	—		
		会計年度任用職員	9,122	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		26,804	—	—	—		
	物件費計		21,342	—	—	—	21,680	98.4%
歳出計			48,146	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		1,064	—	—	—	917	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			1,064	—	—	—	917	
一般財源(物件費充当分のみ)			20,278	—	—	—	20,763	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 占用等継続申請	件	73 件	ー 件	ー 件	ー 件
② 行政財産使用許可申請	件	3 件	ー 件	ー 件	ー 件
③ システムの更新延長距離	m	5,487 m	ー m	ー m	ー m

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明: 水道管路等の財産が適切に管理される。

指標: 水道管占用等継続申請達成率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	—	—	—	%

算出方法: 占用等継続申請処理済件数÷占用等継続申請件数×100

ロジックモデル

アウトプット②

説明: 水道施設情報管理システムが適正に整備されている。

指標: 経年変化修正(距離)のデータ更新率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	—	—	—	%

算出方法: システムの更新延長距離／他課からの更新延長距離×100

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—

算出方法: —

アウトカム②

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—	—	—	—	—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

適正に水道施設が管理され、また上下水道施設情報管理システムを最新の情報に更新することにより、市民の問い合わせや事故時の水理解析を適切に行え、市民の満足度が向上する。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	上下水道施設情報管理システムを使い、上下水道各課からの引継ぎ図面の更新や、給水申請等による引込み情報の随時更新を行い、適正な維持管理を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	上下水道施設情報管理システムによる適正な維持管理を行う。 遊休施設や既存施設の有効活用に取り組む。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	ー	ー	ー

令和6年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　915

事務事業名称		上水道管理課運営事務						
担当部署(R7年度機構)		部:　上下水道部		課:　上水道管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—			
	事業期間	事業開始：　不明		～	事業終了予定：　未定(継続実施含む)			
	根拠法令等	水道法及び同施行令、施行規則並びに枚方市水道事業給水条例及び同施行規程						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:	—	
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	他部署とより良好で柔軟に対応できる相互関係となり、組織の機能を適正かつ効率的に発揮できる状態						
	対象者(受益者)	職員及び連携を図る他部局						
	現状・課題	組織間の連携や課の運営を円滑に図る必要がある						
	事業の概要	課の運営事務						
	年間の主な事務	・上下水道施設情報管理システムに係る交付業務 ・給水装置工事に係る分担金、手数料に関する事務 ・課の庶務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.90人	—	—	—
再任用	0.00人	—	—	—
任期付職員	0.00人	—	—	—
会計年度任用職員	0.20人	—	—	—
特別職非常勤	0.00人	—	—	—
附属機関委員	0.00人	—	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R6予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	22,295	—	—	—		
		会計年度任用職員	751	—	—	—		
		特別職非常勤	0	—	—	—		
		附属機関委員	0	—	—	—		
	人件費計		23,046	—	—	—		
	物件費計		3,239	—	—	—	3,616	89.6%
歳出計			26,285	—	—	—		
歳入	国庫支出金		0	—	—	—	0	
	府支出金		0	—	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	—	—	—	0	
	市債		0	—	—	—	0	
	その他		0	—	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	—	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			3,239	—	—	—	3,616	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①			―	―	―

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①						
説明						
指標		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					
	実績					
	算出方法					

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	所管事務に係る他部局との連絡調整、各庶務事務の執行や公用車の維持管理を行った。
R7年度	
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R7年度取組方針	円滑な事務の執行に努める。	R7年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	―	―	―